

## 学びやを後に 新たな門出 西高で卒業証書授与式

3月1日、西会津高校で卒業証書授与式が行われ、卒業生が人生の新たな一歩を踏み出しました。

式では吉井秀樹校長が卒業生一人一人に証書を手渡し、「感謝の気持ちを忘れずに、福島で生まれ育ったことに誇りを持ち、使命感を持って、たゆまぬ努力を続けてください」と式辞を述べ、薄町長が卒業生へはなむけの言葉を贈りました。卒業生を代表し、鎌倉アルテミスさんが「私たちはこれからそれぞれの道に進みます。途中で悩み、壁にぶつかったときには先生方から学んだことや高校で培った経験を生かし、前へ進んでいきます。この3年間を一生忘れません」と答辞を述べました。



1. 卒業生を代表し答辞を述べる鎌倉アルテミスさん 2. 卒業証書を受け取る卒業生 3. 蛍の光を全員で斉唱 4. 人生の新たな一歩を踏み出した卒業生

## 満100歳をみんなで祝福 佐藤 嘉子さんへ 百歳賀寿 贈呈

佐藤嘉子さん(出ヶ原)の満100歳を祝う百歳賀寿贈呈式が3月1日、親族の皆さんが見守る中、自宅で行われました。同日に満100歳を迎えた佐藤さんへ賀寿や記念品が贈られ、佐藤さん本人が謝辞を述べました。中学校の教員をしていたご主人と結婚し、4人の子宝に恵まれた佐藤さんは、自身も教員として野沢小や黒沢小などで教鞭を取りました。編み物が得意で、長生きの秘訣は好き嫌いをせずに何でも食べることや、飼い猫の面倒を見るなど、好きなことをすることと教えてくれました。



百歳賀寿を親族や関係者と祝った佐藤嘉子さん

## 一年間に最も多くの本を読んだ児童生徒 年間のベストリーダーを表彰

2月19日、西会津中学校で令和元年度ベストリーダーの表彰式が行われました。この賞は、積極的に図書館を利用し一年間の貸出冊数が多かった児童生徒を表彰する賞です。【西会津小】1年=齋藤大我さん、2年=田崎愛蓮さん、3年=西川雫華さん、4年=小柴望愛さん、5年=三留夕都莉さん、6年=落合倅さん 【西会津中】1位=長谷川柊璃さん(3年)、2位=猪俣美咲さん(3年)、3位=小柴萌愛さん(3年)



左から小柴萌愛さん、長谷川柊璃さん、猪俣美咲さん



## 狙いを定め 高得点を目指す 町長杯親善輪投げ大会 250人が熱戦!

2月14日、さゆり公園体育館で第25回町長杯親善輪投げ大会が開かれ、参加した約250人の皆さんが高得点を目指し熱戦を繰り広げました。当日は各老人クラブから40チームが参加し、「ピラミッド」、「クロス」、「ミサイル」の3競技で合計得点を競いました。白熱した競技の結果、団体の部では長寿Aチームが優勝を飾り、個人の部では佐藤辰子さんが最優秀賞に輝きました。【団体】優勝=長寿A、準優勝=菅本A、第3位=安座A、富久寿A 【個人】最優秀賞=佐藤辰子(阿賀A)、優秀賞=小柴龍夫(菅本A)、佐藤清悦(宝川A)、佐藤君子(下野尻A) 【敬称略】





**町内産ホワイトコーンを使用  
西高魅力発信隊  
新作のカレーを発表**

2月25日、西会津高校魅力発信隊の生徒が新作カレーの完成発表会を行いました。「星空のうさぎ座カレー」と名付けられたこの商品は、町内産ミネラル野菜のホワイトコーンを使用した白色のルーが特徴のカレーで、野菜生産者や町内レストランの皆さんなどの協力により、約3年の期間をかけて開発されました。発表会では魅力発信隊の生徒が商品開発の経緯や特徴などを説明し、発表後は開発に関わった関係者の皆さんと商品を試食しました。

「星空のうさぎ座カレー」は今後、町内で発売される予定です。



新商品の発表を行う西高魅力発信隊の2人



▲町内産ミネラル野菜・ホワイトコーンを使用し、白色のルーが特徴の「星空のうさぎ座カレー」



「星空のうさぎ座カレー」の開発に関わった関係者の皆さん

**第2回町長杯 西会津かるた大会  
町特製かるたで  
郷土に親しむ**

第2回町長杯西会津かるた大会が2月22日、西会津小学校で開かれ、参加した児童21人が町の歴史や文化などをテーマにした特製「西会津かるた」を通し、郷土への理解を深めました。対戦は学年別のブロックごとに行われ、白熱した対戦の結果、低学年の部では伊藤陽和さん(2年)、中学年の部では二木優奈さん(3年)、高学年の部では猪俣想さん(5年)が優勝を飾りました。



**ふるさと自慢館で ひなまつりの展示会**

**つるし雛とひな人形 華やかな競演**

桃の節句にちなんだ手芸作品の展示会「ひなまつりの展示会」が2月27日から3月2日にかけて、ふるさと自慢館で開かれ、会場を華やかに彩った作品が町内外から訪れた多くの人の目を楽しませました。会場には町内の手芸サークルの皆さんの作品約150点のほか、町へ寄贈された明治時代のひな人形などが飾られ、来場者はつるし雛とひな人形の華やかな競演に見入っていました。29日には作品作りのワークショップも開催されました。



展示会場を華やかに彩ったつるし雛とひな人形

**生徒自らが課題を掘り下げる「西会津未来探求学」  
西高生 一年間の授業成果を発表**

2月26日、西会津高校で生徒による授業の成果発表会が行われました。同校では週に一度、生徒が自ら課題を掘り下げていく課題探求型の授業として「西会津未来探求学」を行っており、この日は1・2年生の9つのグループが、4月から町内事業所の協力を得て取り組んできた授業の成果を発表しました。発表は寸劇などを交えて行われ、会場を訪れた関係者や町民の皆さんへ向け、取り組んだ授業の成果を分かりやすく伝えていました。



一年間の授業の成果を発表する西高生(写真提供三西会津高)

**児童が町と自分の将来見つめ 意見交換**

**西小6年生 薄町長と懇談会**

西会津小6年生と薄町長による懇談会が2月18日、同校で開かれ、児童と町長がまちづくりなどについて意見を交換しました。

この会は、卒業を迎えた児童が卒業への意識を高め、将来についての理想像を持つことを目的に開催されました。はじめに薄町長が町の現状などについて講話し、「町の歴史や文化、魅力を学び、将来は町のために力を貸してほしい。これからは皆さんの時代。その時に町や地域のために何ができるかを考え、また将来の夢や目標を持ち、どうしたら実現できるかを考えながら生活してください」と児童へ呼び掛けました。

その後、児童を代表し、外島和夏さんと鈴木ゆめ花さんがまちづくりのアイデアを提言し、外島さんは、多くの観光客を呼び込むためのスタンプラリーや小学校を高齢者など誰もが使える施設にし、人とのつながりを深めるアイデアを、また、鈴木さんは、若者が除雪を当番で行う制度やこゆりこども園やさゆり公園の魅力を広く発信し、若年・子育て世代を呼び込むアイデアなどを発表しました。



まちづくりのアイデアを提言する外島さん(左)と鈴木さん